



特集 健やかな成長を願って

子ども課新設

教育・次世代育成は地域の活性化・町づくりの基であり、また、何よりも子どもたちの幸せのために、総力をあげて取り組まなければならぬ課題です。また、少子化の進む現状の中では、子育て支援を町中が一丸となって推進していく必要があります。

そこで、町では業務の再編を行い、子どもの成長過程を一貫して扱う『子ども課』を新設しました。

従来の縦割り行政を改め、子どもの保育・教育に関する行政組織を一元化し、司令塔を明確にしました。子どもの発達保障という観点から考えても、行政の一元化による継続性、一貫性は「子どもの最善の利益」に合致するものです。

また、子どもに関する行政事務・相談窓口が一本化されることにより、保護者・町民の皆様の利

便が図られるとともに、事務量・財政面でもより効率的になります。

この行政組織の再編により、保育園・児童福祉行政は教育委員会の所管となり、これまで町民センターに設置されていた、教育委員会・教育長・教育課総務学校係と役場庁舎内1階に設置されていた、住民福祉課児童係を役場庁舎2階に移し、「子ども課」としてスタートしました。

富士見町で設置した子ども課の業務体系は、全国的にも新しい取り組みです。より充実したサービスを提供していきたいと思っておりますので、町民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



本郷小学校2年 生活科 そば打ち体験